



この1台で、ハウリング知らず

## FBX-1020PLUS FBX-2020PLUS

20bitのデジタル処理で、チャンネルごとに12ポイントのFBXフィルターを持つフィードバックエクスターミネーターです。

### Key Features

- 20bit A/D, D/Aコンバーター
- 12ポイントのFBXフィルター
- フィルターのQ幅を選択可能  
(1/5 oct. 1/10 oct.)
- ClipGuardによるオートマチッククリップレベルコントロール
- ターボモードですばやく簡単にセットアップ
- セットアップ用のツールは必要なし
- フィルタートラッキング機能  
(フィードバックの周波数が移動しても、それに追従する機能)
- FBXの導入により6dB~9dB以上ゲインアップが可能

### フィードバックコントローラーのパイオニア

Sabineは、1990年に世界で初めてオートマチックフィードバックコントローラーを開発し、その製品となるFBX(フィードバックエクスターミネーター)を発表しました。現在では一般的になりつつあるオートマチックフィードバックコントローラーですが、Sabineの新しいFBXシリーズでは、最新のDSP処理にて、「自動的に」「すばやく」「正確に」フィードバックを除去します。ラインナップは、1チャンネルシステム用のFBX-1020 PLUSおよび2チャンネルシステム用のFBX-2020 PLUSの2種類があります。

### FBXの働き

Sabineの独自のフィードバックコントロールアルゴリズムは、フィードバックを識別すると、非常に狭いフィルターを1Hzの解像度で、フィードバックを打ち消すために必要な量を3dBステップの深さで正確にかけていきます。FBXの最大の特長は、プログラムとフィードバックを識別するその能力にあります。

フィードバックがショーの重要な場面やソロパートの最中、あるいは講演会でスピーチをしている最中に生じた場合、FBXがその瞬間に0.4秒という早さでフィルターをセットし、パフォーマンスを台無しにすることなくそのままを維持します。FBXフィルターはどんなに深くかかっても、非常に狭いフィルターで幅は変わらないため、プログラムに影響を及ぼすことはありません。フィードバックだけが除去され、エンジニアが苦心して作ったエネルギー感や音質などが壊れることはないのです。

### FBXのアドバンテージ

エンジニアの仕事は“良い音を創る”ことであり、フィードバックの問題に悩まされるよりも、ミキシングに専念できるほうが望ましいといえます。通常、エンジニアはフィードバック寸前のところでミックスをしなければならぬ場面が多々ありますが、今までよりも6dB~9dBフェーダーを上げることができるとしたらどうでしょうか？ 大音量を出すことが“良い音を創る”ということになるとは限りませんが、「もう少しヴォーカルの音量を上げられたら」と、誰もが一度は思ったことがあるでしょう。そんな要望を応えるのがFBXです。

FBXは、フィードバックの問題をポジティブに解決する機能です。FBXは、フィードバックを除去できないビギナー向けに開発されたものではありません。早く、正確に、そして音質を変えずにフィードバックを落とすことを目的としています。

## 製品仕様

周波数特性	20~20kHz	出カインピーダンス	10Ω
S/N比	100dB以上 (with Clip Guard)	バイパス	True Power-Offバイパス
歪率	0.02%以下@22dBV at 1kHz	I/Oコネクタ	XLR-3, 1/4"TRS
ダイナミックレンジ	105dB以上 (with Clip Guard)	電源	100VAC 50/60Hz 12W
ヘッドルーム	+23dB Peak@4dBV	寸法	483(W)×44(H)×203(D)mm
入出力最大信号レベル	バランス+27dBV	重量	3.6Kg
入力インピーダンス	10kΩ		

## 寸法図：(mm)

